



第115回理事会を開催

平成25年3月21日、一般社団法人電池工業会第115回理事会が機械振興会館で開催された。定款に基づき本間充会長が議長となり、第1号議案から第4号議案まで審議され、提出された議案はすべて可決承認された。また、報告事項についても確認された。

1. 議案

(1) 第1号議案 平成25年度事業計画（案）の審議

各部会長および事務局より、配布資料に基づき平成25年度の事業計画（案）の説明がなされた。

審議の結果、第1号議案は原案どおり可決承認された。

(2) 第2号議案 平成25年度事業予算（案）の審議

経理担当部長より配布資料に基づき平成25年度事業予算（案）について説明がなされた。

審議の結果、第2号議案は原案どおり可決承認された。

(3) 第3号議案 会員入会の審議（賛助会員5社）

専務理事より配布資料に基づき賛助会員候補5社の



入会申請について説明がなされた。

審議の結果、下記の5社について平成25年4月1日付にて入会することが可決承認された。

(賛助会員の入会)

(敬称略)

会員名	会員代表者	事業内容
株式会社ソルトン	しが 志賀 <small>あきら</small> 彰 (代表取締役)	・電気機構部品、特にコネクタ関連部品の輸入販売
帝人株式会社	おおやぎ 大八木 <small>しげお</small> 成男 (代表取締役社長)	・リチウムイオン電池用セパレータの開発・生産・販売
新日本工業株式会社	のぐち 野々口 <small>ひろし</small> 博 (取締役社長)	・印刷事業を核とし、トータルプランニングを提供
エスベック株式会社	いしだ 石田 <small>まさあき</small> 雅昭 (代表取締役社長)	・環境関連設備の開発・製造・販売
三菱化学株式会社	いしづか 石塚 <small>ひろあき</small> 博昭 (代表取締役社長)	・リチウムイオン電池用材料の開発・生産・販売

(4) 第4号議案 統計業務と情報公開のあり方の審議

専務理事より配布資料に基づき、統計業務と情報公開のあり方についての説明がなされた。本議案については、新たな委員会を立ち上げ、問題点の洗い出し、ルール案を策定の上、一年を目途に理事会で再度審議することとした。

2. 報告事項

専務理事より配布資料に基づき報告事項の説明がなされた。

(1) 理事辞任の件

平成24年12月31日付けにて下記の理事より辞任届が出された旨報告した。

- ・パナソニック株式会社役員 エナジー社社長
伊藤 正人 氏

(2) 監事就任の件

平成24年8月31日付けにて辞任された監事鎌田進氏の補欠監事として、昨年10月2日に開催された臨時総会において紙野愛健氏が選任され、監事就任届が提出された旨報告した。

- ・青山アクセス税理士法人 代表社員
紙野 愛健 氏 平成24年10月2日付

(3) 事務局交代者の件

帰任出向職員1名、着任出向職員1名と退職職員1名の氏名の紹介を行った。

(4) 職務執行の件

会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告を行った。

(5) 会員退会の件

下記の会員について平成25年3月31日付にて退会した旨報告された。

(賛助会員) (敬称略)

会員名	退会年月日
ヴァーレ・ジャパン株式会社	H25.3.31
スターキージャパン株式会社	H25.3.31

(6) 会員名称変更の件

下記の会員について、会員名称の変更の報告を行った。

区分	会員名	会員代表者	変更年月日
新	日立マクセル株式会社	おかふじ まさお 岡藤 雅夫 (常務取締役)	H25.1.1
旧	日立マクセルエナジー株式会社	おかふじ まさお 岡藤 雅夫 (代表取締役社長)	

(7) 会員代表者変更の件

下記の会員について、代表者の変更があった旨報告された。

会員名	新会員代表者	旧会員代表	変更年月日
パナソニック株式会社 エナジー社	いとう よしお 伊藤 好生 (エナジー社社長)	いとう まさと 伊藤 正人	H25.1.1
日立マクセル株式会社	せんざい よしひろ 千歳 喜弘 (取締役社長)	おかふじ まさお 岡藤 雅夫	H25.3.1

以上



添田吉美氏は、1900年（明治33年）12月18日、福島県安積郡で生まれました。生家は農業を営んでおりました。

添田氏は、郷里で尋常小学校を卒業してから上京し、修養団体「若人会」に起居して独学、中学課程の検定試験に合格し、さらに早稲田大学の経済学部に入學、大正15年春に卒業しました。卒業後2年間は、永年恩恵を受けた「若人会」にあって、その発展に尽力するかたわら後輩の指導にあたりました。昭和3年東京株式取引所実物取引員上田辰卯商店に就職し、修養団から株界へと、一挙に静の世界から最も激しい動の世界へと大転換をしたのでした。

昭和10年に至り上田氏が豊辺乾電池製造所を買収して、東洋乾電池株式会社と改めてその社長に就任することとなり、添田氏は上田商店から選ばれて、東洋社の常務取締役になりました。上田社長は、本業の株式取引業が多忙のため東洋社の実務を見ることは稀でした。第二次世界大戦が始まるに及び、添田氏は事実上の最高責任者として1人で全業務の采配を振らなければなりません。幸い技術面では元屋井乾電池の技師長であった吉村昌次氏が工場長として添田氏に協力したので、添田氏は経営面に注力することができました。

乾電池の需要先として、民需は従として、主力を軍需、官需の開拓に努めたのでした。特に陸軍関係には率先協力して、その監督工場となり、続いて管理工場となって活躍しました。戦いが酷くなるや陸軍の乾電池現地補給の計画に応じて、軍属として広田逸郎技師等をラバウルへ、斉藤利男技師等をハルマヘラに派遣するなど、戦時中添田氏が陸軍に対して大きく貢献しました。こうした軍への協

力精神は会社においても陣頭指揮の形となって現れていました。

昭和19年12月に添田氏の尽力により三菱電機、三菱商事の資本参加、並びに技術援助が決定するに至りました。翌20年には不幸にも戦災によって本社・工場の殆どを焼失し、終戦後上田社長は遂に東洋社の経営を断念することとなり、持株全部を三菱系に移譲することとなりました。その結果21年2月三菱から荘清彦氏が新たに社長に就任しましたが、添田氏は常務のまま残留しました。ところが、制限会社令により荘社長を始め、三菱系の兼任役員が退社の余儀なきに至ったので、添田氏はそのあと専務取締役になりました。東洋社は終戦まで軍、官需を主体として経営を続けてきたので、終戦による民需転換への努力は並大抵ではなかったようです。

園芸に興味を持っていた氏は、不足食糧の自給のために、少年時代に患った脊髄カリエスが再発亢進し、さらに肝臓炎を併発して病床に臥す身となりました。そして長期療養の甲斐もなく遂に再起不能となり、昭和23年3月14日、戦禍を受けた会社再建途上において永眠されました。享年49歳でした。



添田 吉美氏

平成25年 4月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	8日(月)	広報総合委員会	年間活動計画、九州でんちフェスタ、他。
	16日(火)	国際環境規制総合委員会	年間活動計画、地域別動向の審議、他。
	19日(金)	九州でんちフェスタワーキンググループ	九州でんちフェスタの内容検討。
	25日(木)	統計合同委員会	委員会体制、進め方の検討及び審議。
	25日(木)	T34回JEA蓄電池設備認定委員会幹事会	蓄電池設備の型式認定案件15件の審議、他
二次電池部会	2日(火)	自動車用電池委員会・技術委員会合同会議	EN規格のJIS化検討、他。
	5日(金)	自動車鉛分科会	EN規格のJIS化検討、他。
	8日(月)	S0101WG	SBA S0101 アイドリングストップ規格の改定審議。
	10日(水)	電気車鉛分科会	SBA S0802、G0805標準化委員会対応、他。
	12日(金)	用語分科会	SBA S0405改正審議、他。
	15日(月)	業務分科会	自主投票、区分・分類見直し。
	16日(火)	PL委員会	表示ガイドライン改正審議。
	17日(水)	据置鉛分科会	SBA S0601改正審議、他。
	18日(木)	資材分科会	共用金型・部材供給リスク情報、他。
	18日(木)	小形鉛分科会	SBA G0202 標準化委員会対応、他。
	18日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	19日(金)	充電器分科会	SBA G0902改正審議、他。
	22日(月)	産業用電池統計分科会	産業用電池統計数値の確認。
	22日(月)	電気車用電池統計分科会	電気車統計数値の確認。
	23日(火)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
	23日(火)	資材委員会	廃バッテリー調査まとめ検討、他。
	24日(水)	自動車用電池委員会	SBRA新リサイクルシステム運用状況報告、他。
一次電池第2部会	8日(月)	リチウム二次分科会	IEC改訂規格、ANSI改訂規格審議。
	9日(火)	リチウム二次分科会	JIS C 8712改正規格審議(リチウム二次電池)
	10日(水)	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS C 8712改正規格審議(ニカド・ニッケル水素)
	10日(水)	次世代蓄電池委員会	産業用Li-Ionの普及検討。
	10日(水)	国際電池輸送委員会	ICAO WG/13への対応審議
	12日(金)	据置LIB分科会	IEC62619、IEC62620の検討。
	15日(月)	国際電池規格委員会	IEC、UL、ANSI、GBなど国際規格審議
	16日(火)	法規WG	電池規制内容検討。
	17日(水)	LIB蓄電システムWG	蓄電池設備に関する認定の手引き改訂検討。
	19日(金)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議
一次電池部会	19日(金)	PL委員会	リスクアセスメントに関する審議
	11日(木)	リチウム小委員会	IEC60086-4CDV draft審議、KEYFOB試験状況報告、他。
	12日(金)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8500、8515、8514審議、他。
	15日(月)	リチウムコイン二次電池 国際規格WG	IEC61960/IEC62133の改訂に向けた検討。
	19日(金)	業務委員会	年間活動計画、国内需要予測の検討、他。
	19日(金)	ニッケル水素WG	市販用ニッケル水素電池の表示基準検討。
22日(月)	PL委員会	平成24年度の重要クレーム分析まとめ、他。	

2月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2013年2月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	310,725	57,774	83%	79%	595,016	112,375	86%	84%
一次電池計	200,839	6,736	83%	83%	379,251	12,318	85%	84%
酸化銀電池	58,599	1,012	78%	71%	123,671	2,082	82%	74%
アルカリ乾電池計	76,522	3,198	79%	81%	133,406	5,454	83%	83%
単 三	43,065	1,565	80%	85%	74,600	2,683	82%	86%
単 四	20,555	746	78%	82%	36,902	1,291	84%	83%
その他	12,902	887	80%	75%	21,904	1,480	81%	79%
リチウム電池	65,718	2,526	92%	91%	122,174	4,782	91%	91%
二次電池計	109,886	51,038	83%	79%	215,765	100,057	89%	84%
鉛電池計	2,695	13,882	92%	93%	5,439	27,241	94%	92%
自動車用	1,961	7,557	91%	87%	3,995	15,691	93%	89%
その他の鉛蓄電池	734	6,325	97%	100%	1,444	11,550	99%	97%
アルカリ蓄電池計	47,771	17,334	93%	86%	92,025	32,711	92%	85%
ニッケル水素	35,272	15,576	92%	84%	67,852	29,420	93%	85%
その他のアルカリ蓄電池	12,499	1,758	96%	98%	24,173	3,291	88%	90%
リチウムイオン蓄電池計	59,420	19,822	77%	67%	118,301	40,105	87%	78%
車載用	11,988	8,658	433%	63%	21,307	17,824	480%	79%
その他	47,432	11,164	63%	71%	96,994	22,281	74%	77%

2月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2013年2月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	155,300	29,462	87%	109%	295,098	54,131	91%	113%
一次電池計	75,330	1,857	97%	99%	140,528	3,472	97%	99%
マンガン	1	8	0%	68%	385	18	85%	128%
アルカリ	4,111	72	114%	120%	7,197	118	99%	89%
酸化銀	40,378	558	99%	97%	77,917	1,075	103%	101%
リチウム	30,712	1,125	94%	105%	54,779	2,075	88%	100%
空気亜鉛	110	1	128%	136%	121	1	141%	180%
その他の一次	18	93	178%	57%	129	184	243%	89%
二次電池計	79,970	27,605	79%	110%	154,570	50,658	87%	114%
鉛蓄電池	160	844	124%	76%	279	1,403	109%	81%
ニカド	9,703	867	98%	104%	18,295	1,638	87%	93%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	10,197	5,183	90%	138%	19,322	9,269	92%	130%
リチウムイオン	55,390	14,829	76%	92%	107,248	28,332	86%	102%
その他の二次	4,520	5,882	77%	184%	9,425	10,016	87%	167%
全電池合計（輸 入）	96,879	9,292	109%	116%	208,851	19,155	96%	119%
一次電池計	89,408	1,382	111%	141%	193,496	2,989	96%	135%
マンガン	11,097	106	80%	81%	25,745	254	64%	91%
アルカリ	63,015	810	119%	144%	134,656	1,625	101%	119%
酸化銀	240	6	75%	73%	657	15	106%	96%
リチウム	11,515	394	119%	193%	25,664	897	147%	215%
空気亜鉛	3,513	52	84%	102%	6,746	104	80%	97%
その他の一次	28	15	882%	61%	28	92	6%	309%
二次電池計	7,471	7,910	94%	112%	15,355	16,166	95%	117%
鉛蓄電池	638	2,448	105%	101%	1,402	5,088	108%	107%
ニカド	137	147	9%	69%	335	354	14%	97%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	1,792	410	143%	88%	4,087	937	137%	116%
リチウムイオン	3,921	4,112	101%	150%	8,127	8,173	111%	161%
その他の二次	983	793	153%	67%	1,405	1,614	65%	57%

2月度地域別財務省貿易統計

(2013年2月)

単位：百万円

一次電池

輸出	合計	アルカリ	マンガン	酸化銀	リチウム	その他
東南アジア	998	59	1	525	412	1
欧州	325	12	5	7	301	0
北米	441	1	0	26	322	92
その他	93	1	1	1	90	0
合計	1,857	72	8	558	1,125	94
輸入						
東南アジア	1,195	769	106	2	316	2
欧州	67	1	0	4	12	50
北米	119	39	0	0	66	14
その他	1	0	0	0	1	0
合計	1,382	810	106	6	394	66

二次電池

輸出	合計	鉛蓄電池	ニカド	ニッケル水素	リチウムイオン	その他
東南アジア	10,587	239	128	690	7,025	2,506
欧州	4,888	279	45	2,100	1,970	495
北米	10,019	242	26	2,209	5,510	2,031
中米	880	2	666	3	175	34
その他	1,231	83	1	182	149	817
合計	27,605	844	867	5,183	14,829	5,882
輸入						
東南アジア	7,204	2,089	70	398	3,963	684
欧州	359	189	22	11	77	60
北米	326	151	54	1	72	48
中米	20	18	2	0	0	1
その他	1	1	0	0	0	0
合計	7,910	2,448	147	410	4,112	793